

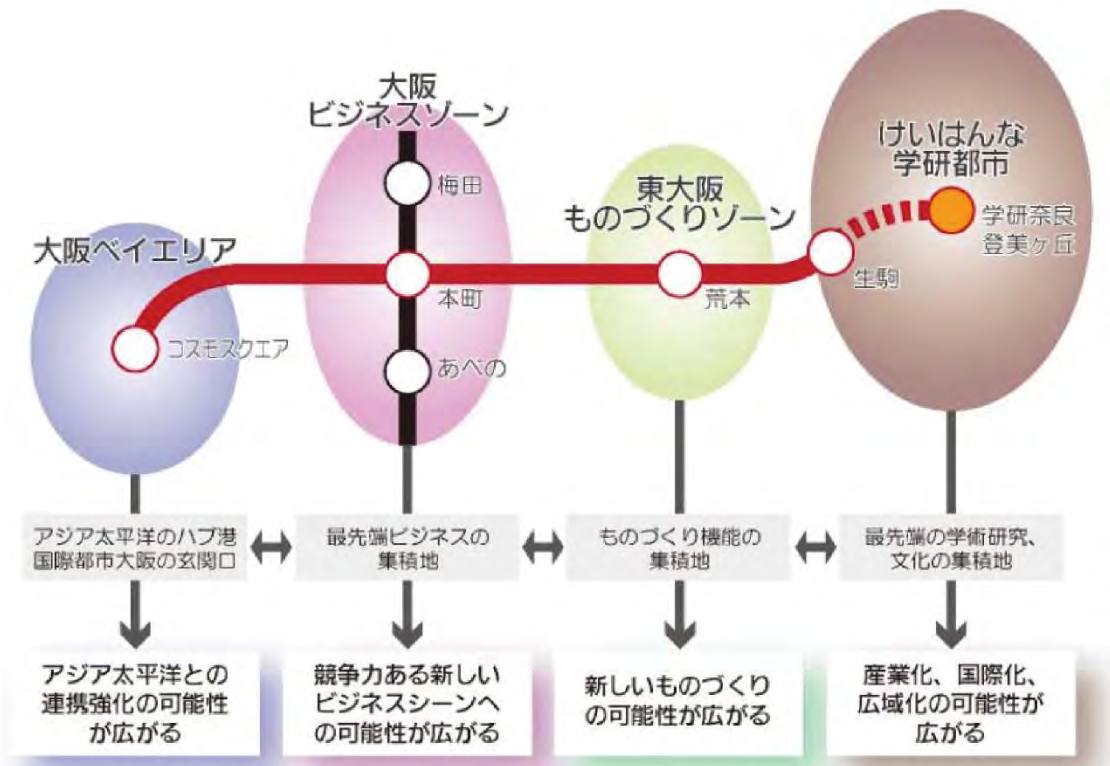
### 3 鉄軌道の開業後における赤字路線の経営改善等に向けた取り組み事例

#### 3.1 経営改善等に向けた取り組み

##### 3.1.1 開業前及び開業後に取り組んだ活動

###### (1) 「ゆめはんな」連携事業、イベント

けいはんな線が開業し、大阪市交通局中央線と相互直通運転を開始することにより、関西文化学術研究都市、中小企業が集積する「ものづくりのまち」東大阪市、大阪市の都心部、大阪ベイエリアが一本の路線で結ばれる機会を捉え、沿線地域の相互交流と連携、関西のさらなる発展を目的に 2005（平成 17）年 6 月、「学研都市と東大阪・大阪との鉄道直通化に伴う連携事業（仮称）実行委員会」が設置された。実行委員会は、沿線自治体、経済団体、近鉄、大阪市交通局（現 大阪メトロ）、国の機関等 35 団体によって構成された。翌 7 月から京阪奈新線・東大阪線・地下鉄中央線の統一愛称を募集し、約 8,000 件の応募について選考の結果、10 月に「ゆめはんな」が統一愛称に選ばれた。



ゆめはんな公式ロゴマーク



ゆめはんな PR ラッピング車両

けいはんな線の開業に合わせ、近鉄の車両1編成に「ゆめはんな」デザインのラッピングを施したほか、開業した2006（平成18）年3月から6月にかけてイベントを集中的に実施してPRに努めた。近鉄が関係した主なイベントは次のとおりである。

① ゆめはんなこども絵画コンクール

「ゆめはんながつなぐ夢・未来」をテーマに絵画を募集、1,509点の応募があり、4月1日に学研北生駒駅で表彰式を開催した。

② ゆめかがく IN KITAIKOMA

学研北生駒駅構内において、奈良先端科学技術大学院大学による最先端の研究成果を紹介したもの。3月27日の開業日から約3か月にわたって実施した。案内ロボット「イコちゃん」、自動音声情報案内システム「キタちゃん」のデモンストレーション、希土類発行体によるオブジェの展示、陶板画の掲出等が行われた。



自動音声情報案内システム  
「キタちゃん」



案内ロボット  
「イコちゃん」



「ゆめかがく IN KITAIKOMA」スタートイベント

③ 親子で体験 けいはんな学研都市と海遊館一泊の旅

ゆめはんな連携事業を中部地域でPRするため、中日新聞紙上で体験観光を募集し、応募総数441組から抽選で20組の親子をご招待した。

4月1日～2日の1泊2日で、学研都市の主要施設を見学した後「けいはんなプラザホテル」に宿泊、けいはんな線を利用して学研北生駒駅と海遊館を見学した。

④ けいはんな日本文化デー

日本の伝統文化をけいはんな学研都市から発信する目的で開催した。

4月23日 南都楽所による春日舞楽講演、里中満智子・辛島美登里氏による文化対談

5月31日 文楽協会による文楽公演

⑤ 駅ロボ LIVE in 学研奈良登美ヶ丘駅

株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）が、駅の利用者を対象に状況に応じたロボットサービスの実証実験を実施した。



案内ロボ（学研奈良登美ヶ丘駅）

## (2) その他イベント

### ① 若楽若楽（わくわく）ウォーク

2005（平成17）年10月30日に実施した。けいはんな線の開業ムードを高め、より親しみを感じていただくという目的で生駒市主催の市民ウォークの一環として、白庭台～学研北生駒間の高架橋軌道内を、5,000人以上の一般市民が体験歩行した。

### ② 開業前試乗会

2006（平成18）年3月10日から20日にかけて、延べ15,000人に試乗いただいた。うち8日間は事業関係者向け（自治体、議会、株主、経済界、マスコミ等）で、続く3日間は近鉄主催による旅行業試乗会および一般公募試乗会として実施した。

**近鉄 平成18年3月27日開業**  
**けいはんな線試乗会**

平成18年3月19日（日）※雨天決行  
 3月20日（月）

往復はがき 申込制 参加費 無料

募集期間：平成18年1月15日（日）～平成18年2月20日（月）（必着）

試乗会開催  
 生駒駅中央改札外受付 →（学研奈良登美ヶ丘駅・学研北生駒駅・白庭台駅を約20分間隔で運転する列車で自由乗降、自由見学）→ 生駒駅中央改札外前

応募方法  
 往復はがきにて参加希望人数（お名前、希望日・時間帯と希望者会員の氏名、〒900-0001、電話番号、住所・電話番号）を明記の上下記まで郵送してください。

記入用  
 代表者の氏名、住所、電話番号、希望日・時間帯、希望者会員の氏名、〒900-0001、電話番号、住所・電話番号

試乗会において開業記念グッズを発売  
 トレインペン、缶バッジ、ネクタイ、トートバッグ、キーホルダー

近鉄

### けいはんな線開業記念グッズ



【トレインペン】私鉄モデル初の電車型フィギュアボールペン。7020系（けいはんな線車両）と3200系の2種類。



【缶バッジ】7020系（けいはんな線車両）と路線図のオリジナルデザインをプリントした缶バッジ。



【ネクタイ】4種類の車両イラストをプリントしたネクタイ（箱入り）。



【トートバッグ】7020系（けいはんな線車両）のイラストをワンポイントデザインにしたトートバッグ。



【駅名標キーホルダー】新しく営業を開始する駅の駅名標をデザインしたキーホルダー。ほかにも種類があります。

※写真は試作品です。実際の商品とは多少異なります。※いずれの商品も数量に限りがあります。

### 試乗会募集パンフレット・開業記念グッズ

### ③ 工事見学会

工事着手後、沿線自治会、水利組合、子供会等から工事見学の受け入れ依頼が相次いだ。事業のPRや周辺住民とのコミュニケーションを重視し、土木工事初期段階の2000（平成12）年後半から2005（平成17）年夏まで延べ5,000人を超える方々を受け入れ、工事見学会の開催に協力した。

### 3.1.2 定住人口の増加に向けた沿線開発等

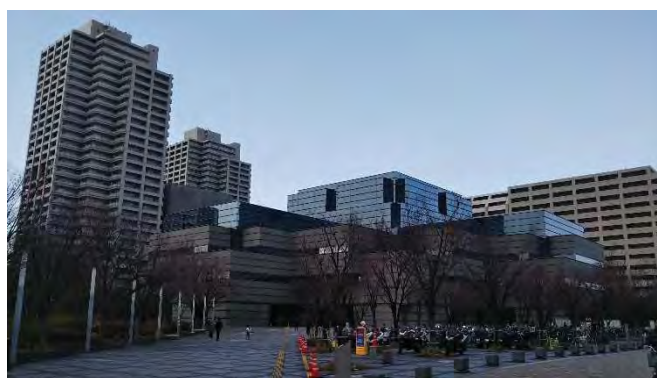
#### (1) 東大阪線

東大阪線においては、近鉄が沿線に土地を所有しておらず、鉄道事業者として積極的に沿線開発を実施したことはない。一方、大阪府や東大阪市は、荒本駅北側にあった大阪府営春宮住宅の高層化による用地の高度利用を図る「東大阪新都心」構想を打ち出した。既存の低層住宅を撤去した跡地に、1996（平成8）年には大阪府立中央図書館が大阪市内から移転開館したほか、2003（平成15）年には東大阪市役所の本庁舎が、近鉄奈良線若江岩田駅の近くから移転した。同年にはカルフル東大阪（現在のイオン東大阪店）が開店するなど、商業施設も進出し、荒本駅周辺は賑わいを増した。

吉田、新石切駅周辺では、東大阪線の開業後に住宅開発が進み定住人口は増加した。近年においてもマンションの新規分譲が続いている。



東大阪市役所 本庁舎



府営春宮住宅（左）、府立中央図書館（中央）



イオン東大阪店（旧 カルフル東大阪）

## (2) 京阪奈新線

京阪奈新線では、近鉄が沿線に多くの土地を保有しており、一部では新線建設の着手前から住宅地の開発に着手していた。新線の開業に歩調を合わせて各駅周辺の開発事業を加速させるとともに、バス・タクシーとの乗り継ぎ、自家用車による「パーク&ライド」「キス&ライド」に対応し利便性を高めるため、地元自治体と連携して駅前広場、駅周辺街路の整備が図られた。

このほか、各駅周辺には近鉄グループ会社の運営による駐車場・駐輪場が整備されている。

また、これらの3駅周辺において近鉄グループがこれまでに住環境を整備した実績は、戸建て分譲住宅が約1,700戸、分譲宅地が約1,600区画、分譲マンションが約2,200戸に上っており、引き続き造成・販売を進めている。

### 1) 白庭台駅周辺

近鉄による生駒白庭台住宅地（約62ha）は、1985（昭和60）年に開発許可を得て造成に着手し、1988（昭和63）年に入居が開始されたが、京阪奈新線の整備着手時点では駅予定地周辺について粗造成まで完了した後、工事を延期していた。近鉄から生駒市に対して、駅前広場、商業施設、中高層住宅など用途地域変更を働きかけ、2005（平成17）年2月に区画整理事業認可と用途地域変更告示を経て、駅前広場を整備した。

また、駅前には駅前商業ビル「SOLTE 白庭台」や地元医療法人による病院などが設置された。さらに、駅周辺では前述の生駒白庭台住宅地のほか、2003（平成15）年には西白庭台住宅地（約34ha）も販売開始するなど、近鉄グループによる住宅開発が引き続き進められており、着実に人口が増加している。



白庭台駅前・白庭病院（左）



SOLTE 白庭台

### 2) 学研北生駒駅周辺

都市計画道路の幅員変更、南口駅前広場や街路の整備が2002（平成14）年8月に都市計画決定され、生駒市の施行により2006（平成18）年3月の新線開業までに完成している。

当駅の南東側には、1973（昭和48）年から近鉄が開発した真弓住宅地（約73ha）や1988（昭和63）年に販売を開始した北大和住宅地（約58ha）が広がっている。これらの地区の住民は大阪市内へ向かう際、従来はバスに乗って近鉄奈良線学園前駅まで移動する必要があったが、当駅の開業により大阪市内へのアクセスが大幅に改善された。

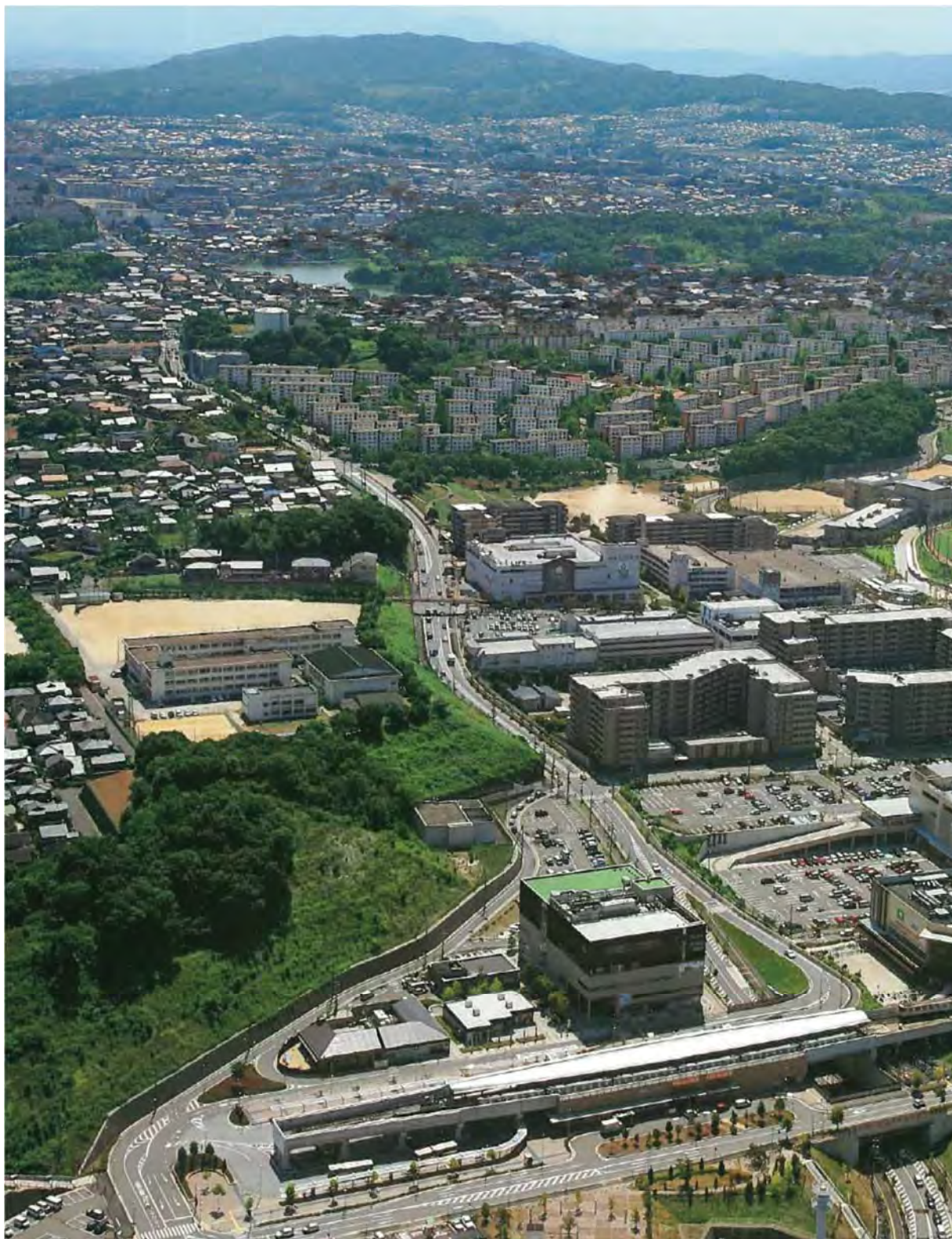


学研北生駒駅・駅前広場

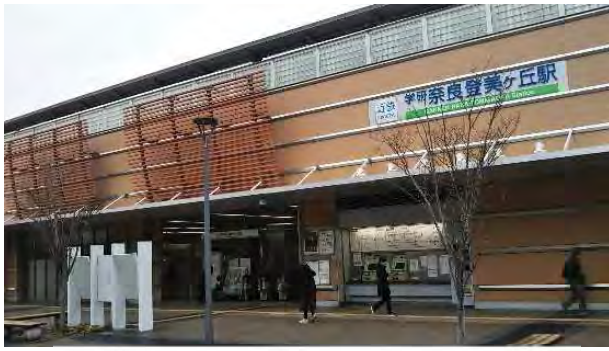
### 3) 学研奈良登美ヶ丘駅周辺

駅前広場、商業地域や中高層住居地域を配置した土地区画整理事業として2003（平成15）年8月に事業認可され施工・完成したほか、2005（平成17）年2月に用途地域変更が公告された。

駅前には近鉄によって開発された商業ビル「リコラス登美ヶ丘」やイオンモール奈良登美ヶ丘などの商業施設、奈良学園登美ヶ丘小学校などの教育施設、子育て世代に必要な保育園などが立地し、継続中のマンション開発と併せてさらに賑わいを増している。



学研奈良登美ヶ丘駅上空から南方を望む



学研奈良登美ヶ丘駅前（南改札口）



駅前商業ビル「リコラス登美ヶ丘」



分譲マンション群（近鉄不動産）



保育園（駅周辺施設）

### (3) バス路線の再編

京阪奈新線開業と各駅の駅前広場完成にあわせて、周辺地域を運行する奈良交通の路線バスは、すべて新線3駅のいずれかを経由するルートに変更した。利用客は従来、近鉄奈良線の各駅までバスを利用し鉄道に乗り換えていたが、最寄り駅を新線の各駅に変更することでけいはんな線への利用客の移行を促進するものである。

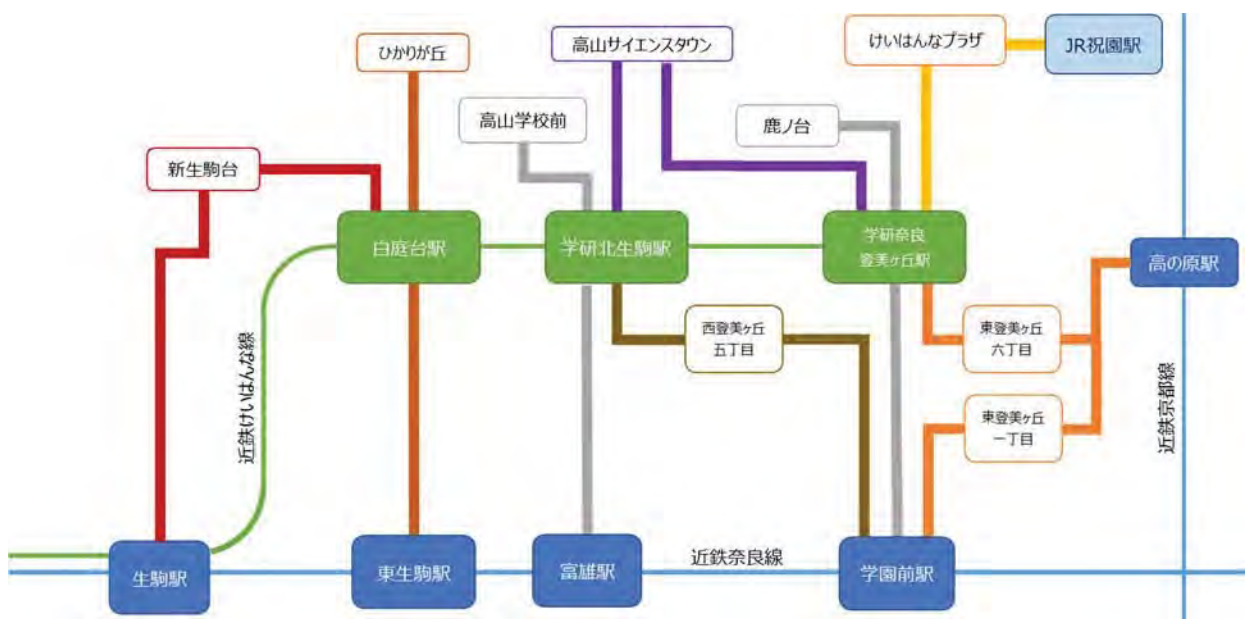


図-10 バス路線図（抜粋）